



## 本会記事

### ■広報委員会だより

#### 第7回「おもしろ科学教室」(名古屋大学)での出展

毎年恒例となりました、名古屋大学「おもしろ科学教室」への出展報告です。このイベントは、日本の次世代科学技術を担う青少年の科学啓発と、地域社会における科学技術理解増進を目的とし、本学会を含め12の学協会・教育機関が主催したもので、今年度も成人の日(平成27年1月12日)に名古屋大学東山キャンパス IB 電子情報館において実施されました。小学生親子を対象とした工作教室、展示、講演で構成され、約400名の来場客がありました。今年度は、ノーベル物理学賞受賞を記念し、名古屋大学天野研から青色発光ダイオードに関する展示も加わり、また世界第3位の実績をもつ豊田高専ロボカップチームの展示もあって、会場は大変な盛り上がりを見せていました。

本学会は、例年どおりブース展示を担当し、各大学、研究所にご協力いただき持ち寄った以下の展示・実演を行いました。

超伝導磁気浮上列車、プラズマボール、注射器型火花放電装置、電子レンジで蛍光管を点灯(以上、核融合研)  
人工ダイヤモンド氷カッター(原子力機構)  
プラズマ・エネルギー・磁場に関するクイズ(本学会)  
各種パンフレット類(本学会、核融合研、原子力機構)

各展示物の詳細については、過去の記事[1]を、またイベント参加の経緯等は、開始当初の報告[2]をご参照ください。今回は、室賀常務理事、大野、中村、水口、上野の各広報委員および事務局から石山、杉山が案内にあたりました。工作教室には定員を大幅に上回る申し込みがあり当選

倍率も高かったようですが、それでも来場者の中には、昨年度の同イベントでお子さんが大変興味をもたれたとかで、今回再度の参加をされた方もいらっしゃいました。見せる側としても、子どもに新たな感動を与えるにはどうすればいいかに頭を悩ませたりと、普段は使わない頭と身体をフルに使って、半日のイベントを参加者の皆さんと一緒に楽しみました。

広報委員会では、会員以外の広く社会に向けた情報発信を目的として7年前よりこのような広報イベントを展開してきました。最近、夏と冬にそれぞれ東京地区(日本大学理工学部「夏休み自由研究教室」[3])と、名古屋地区(本イベント)で展示・実演を行ってきています。学会としての当分野の情報発信のあり方に関し、ご意見、新たなご提案等がございましたら、ぜひ広報委員会までお寄せください。

今回の出展にあたり、豊田高専校長高井吉明先生、名古屋大学生田博志先生はじめ、実行スタッフの先生方、名古屋大学の学生の皆様には、準備段階から当日の運営にいたるまで大変お世話になりました。また展示物については、日本原子力研究開発機構、核融合科学研究所、名古屋大学の各位よりご提供いただきました。ご協力に感謝いたします。

### 参考文献

- [1] プラズマ・核融合学会誌 90, 210 (2014).
- [2] プラズマ・核融合学会誌 85, 140 (2009).
- [3] プラズマ・核融合学会誌 90, 653 (2014).

(広報委員会)



写真1 展示の様子。



写真2 会場を背景にスタッフ一同。